

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部
		実施期間	S29～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 県下の交通事故情勢は、令和元年の発生件数、死傷者数ともに前年より減少しているが、高齢者の関与する事故が全体の約4割を占めているほか、全死者の半数以上を高齢者が占めている。
	【目指す姿】 平成28年度策定の「第10次長野県交通安全計画」における、令和2年までに年間の交通事故死傷者数9,000人(死者数55人)以下とすることを目標に、高齢者の交通事故防止対策を始めとする諸対策を推進し、交通事故の総量抑制と交通死亡事故防止を図る。
	【実施内容】 交通安全教育、交通安全広報啓発活動、交通違反取締り、交通事故事件捜査、違法駐車対策、交通安全施設整備 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度		目標値	達成状況	事業 コスト	R1年度	R2年度	
										前年度繰越	79,448	0
										現計予算	2,772,907	3,082,725
										合計(A)	2,852,355	3,082,725
										うち一般財源	631,977	936,777
										決算額(B)	2,784,867	2,906,863
									職員数(人)※			

※職員数(人)については、特定の事業に従事する人員を算出できないため未入力

成果指標 設定理由	「第10次長野県交通安全計画」において、目標を令和2年までに年間の交通事故死傷者数9,000人(死者数55人)以下としている。
達成状況 の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通事故の特徴等を踏まえ、子供や高齢者等を対象とした交通安全教育・啓発を効果的に推進した。 2 交通事故実態を踏まえた街頭活動や悪質・危険違反の取締りを強化した。 3 交通の安全と円滑に資する交通安全施設等の整備を効果的に推進した。 4 運転者に対する運転免許講習等を適切に実施した。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加・体験・実践型の交通安全教育・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教育車チャレンジ号等を活用した出前型交通安全教室 ・高齢運転者対象のシルバー技能アップ講習 ・ドライブレコーダーによる高齢運転者教育 ● 交通事故防止に資する街頭活動・交通指導取締り <ul style="list-style-type: none"> ・白バイ・パトカー等による街頭活動 ・飲酒運転、速度違反、横断歩行者妨害、携帯電話使用等違反等の交通事故に直結するおそれのある違反に重点を置いた交通指導取締り ● 安全で快適な交通環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止と交通の円滑化に資する交通安全施設等の整備 ・交通実態の変化等に即した交通規制 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>運転歩行能力診断機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通指導取締り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>信号機整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>信号機整備後</p> </div> </div>

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>令和2年中の交通事故発生件数、死者数、負傷者数は、前年と比べて大幅に減少し、死者数は46人で統計開始以来(昭和23年以降)最小、死傷者数はしあわせ信州創造プラン2.0の交通事故抑止目標「2022年までに交通事故死傷者数を8,500人以下」を3年前倒しで達成した。第10次長野県交通安全計画の死者数55人以下の目標も達成した。</p> <p>しかしながら、高齢者人口の増加等を背景として、死者数全体に占める高齢者の割合は6割を超えているほか、死亡事故の3割が高齢運転者によるものであるなど、高齢者の交通事故防止が課題である。</p>	<p>左記課題も踏まえ、高齢者の交通事故防止対策を最重点としつつ、次代を担う子供の安全確保、悪質・危険違反の取締り、安全で快適な交通環境の整備、適切な運転免許行政等を推進していく。</p>

事業番号 16 01 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部
-----	-------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	交通関係講習経費		684,530 千円	711,450 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	取消処分者講習経費	直接	・講習用教材、講習用機器を整備した。	
2	初心運転者講習経費	直接	・受講通知等の受講者管理業務を実施した。	
3	各種講習経費	委託	・法に規定する安全運転管理者講習を実施した。（委託先：長野県安全運転管理者協会） ・停止処分者講習、違反者講習（委託先：長野県交通安全協会）、高齢者講習等各種講習を実施した。（委託先：長野県指定教習所協会）	
4	講習用機材整備	直接	・各種安全教育において運転歩行能力診断機「点灯くん」等を活用（リース）した。 ・運転シミュレータ、各種講習用機器をリースした。	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	交通安全教育推進事業		17,403 千円	15,234 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	地域交通安全活動推進委員による交通安全活動支援	直接	・季別交通安全運動における活動への支援を行った。 ・交通安全教育知識の向上のため4回実施予定であった研修会はコロナ禍のため中止した。	
2	各対象者に応じた交通安全教育の推進	直接	・高齢者を中心とした運転適性診断を実施した。 ・チャレンジ号等を活用した交通安全教室を60市町村、75箇所実施した。	
3	交通安全広報啓発活動の推進	負担金	・交通事故ゼロチャレンジ事業を推進した。 負担先：交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	
4	参加・体験型交通安全講習	委託	・S d o cプログラムに基づくシルバー技能アップ講習を371人に対して実施した。（委託先：長野県指定教習所協会） ・S d o cプログラムに基づくドライブレコーダを活用した再教育を58人に対して実施した。（委託先：高齢者安全運転診断センター）	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
3	交通指導取締経費		110,583 千円	115,959 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	交通違反取締経費	直接	・交通指導取締りを実施した。	
2	交通取締用機器関係経費	直接	・交通指導取締機器（飲酒感知器等）を増強整備した。 ・各種取締機器の修繕を実施した。	
3	交通事故捜査経費	直接	・交通事故捜査用資機材（3Dレーザースキャナ、ドローン）等を整備した。 ・交通事故記録装置の点検を実施した。	
4	交通基本情報管理システム経費	直接	・交通事故情報の管理業務等において交通基本情報管理システムを活用（リース）した。	
5	補助金・負担金	補助金	・道路交通情報提供業務（負担先：日本道路交通情報センター） ・累積点数通知業務（負担先：自動車安全運転センター） ・交通安全子供自転車大会がコロナ禍により中止となったため未執行（負担先：長野県交通安全協会）	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
4	交通安全施設整備事業		1,736,486 千円	1,831,843 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	交通安全施設整備	直接	・交通信号機の新設、高度化（LED化・歩車分離等）、更新整備を実施した。 ・道路標識・標示を整備した。	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
5	駐車対策推進事業		235,865 千円	232,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	道路使用許可調査業務	委託	・道路使用許可申請に係る工事等について条件の履行、現状回復等の調査を実施した。（委託先：長野県交通安全協会）	
2	自動車保管場所標章交付業務	委託	・自動車保管場所現地調査を実施した。（委託先：長野県自家用自動車協会） ・標章交付業務を実施した。（委託先：長野県交通安全協会）	
3	放置駐車取締り対策	委託	・放置駐車取締りを実施した。 ・駐車監視員による放置車両確認事務を実施した。（委託先：新日本警備保障） ・放置違反金収納事務を実施した。	